

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の生活環境に対する意識や市政への要望、評価等を把握し、今後の市政運営の基礎的資料とすることを目的として実施した。

2 調査の対象及び方法

- (1) 調査対象 6,000人（新座市に居住する20歳以上の市民から無作為抽出）
- (2) 調査方法 配布は郵送、回答は郵送又はインターネット(WEB)によるアンケート調査
- (3) 調査期間 平成30年6月16日～7月16日

3 回収状況

- (1) 配布数 6,000 票
- (2) 回収数 2,626 票（一般回答：2,267、インターネット(WEB)回答：359）
- (3) 回収率 43.8%（うちインターネット(WEB)回答率：13.7%）

4 標本抽出

対象者の抽出に当たって、市内を新座市都市計画マスタープランで定めた地域区分による7地域に分類し、各地域における20歳以上の人口（平成30年4月1日現在）により、6,000の標本を比例配分した。各地域の配布数と回収数を以下に示す。



地域区分	配布数	回収数	回収率
市全体	6,000	2,626	43.8%
北東地域	1,564	662	42.3%
北西地域	649	319	49.2%
東部地域	510	219	42.9%
中央地域	621	241	38.8%
西部地域	384	165	43.0%
南部地域	1,633	661	40.5%
南西地域	639	259	40.5%
不明	-	100	-

5 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（新座市に住む20歳以上の市民）の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の算出式及び早見表を以下に示す。統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）及び②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。今回の調査の誤差幅は±1.93%以内となる。

【標本誤差算出式】

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数（新座市の20歳以上の市民）
n=比率算出の基数（回答サンプル数）
p=回答の比率（0 ≤ p ≤ 1）

回答比率(p) 標本数(n)	5%又は 95%程度	10%又は 90%程度	20%又は 80%程度	30%又は 70%程度	40%又は 60%程度	50%程度
100	±4.36%	±6.00%	±8.00%	±9.16%	±9.79%	±10.00%
200	±3.08%	±4.24%	±5.65%	±6.48%	±6.92%	±7.07%
500	±1.95%	±2.68%	±3.57%	±4.09%	±4.37%	±4.46%
1,000	±1.37%	±1.89%	±2.52%	±2.89%	±3.09%	±3.15%
2,626	±0.84%	±1.16%	±1.55%	±1.77%	±1.89%	±1.93%
5,000	±0.60%	±0.83%	±1.11%	±1.27%	±1.36%	±1.39%
6,000	±0.55%	±0.76%	±1.01%	±1.16%	±1.24%	±1.26%
10,000	±0.42%	±0.58%	±0.77%	±0.88%	±0.94%	±0.96%

注) この表の計算式の信頼度は95%

6 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、総数を100%として算出し、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答の質問は、回答者数(=総数)を分母として比率を算出しているため、合計が100%を超える場合がある。
- (3) 統計学上50サンプル以下の集計(回答者数)は信頼性が低い。そのため、クロス集計については、50サンプル以上を記述の対象としている。
- (4) 図や表、文章では、数値の一部（内訳10%未満の一部）を視認上に省略して表記している箇所がある。